

# 第40回「議員と語り合い」報告書

文教厚生常任委員会 (No.1)

開催日	令和5年1月27日 14時 ~ 15時30分		
開催場所	議会棟 第3・4委員会室		
団体名	はやと草の根会	参加人員	4人 (男 0人:女 4人)
出席議員	山口 仁美、野村 和人、久保 史睦、川窪 幸治、阿多 己清 前川原 正人		
役割分担	班 長(山口 仁美) 記録係(野村 和人)		
テーマ及び具体的な内容	<p>① 学校におけるジェンダー教育について ② 鹿児島県家庭教育支援条例が求める家庭教育とは</p> <p>先進諸国の中で最も男女間格差が大きくなっている我が国の男女共同参画社会の実現にあたっては、幼少期からのジェンダー教育が大切だと考える。ジェンダー教育を推進するにはどうすれば良いか、また、その推進のための協力体制はどうあるべきかについて意見交換を希望する。</p>		

意見交換での主な意見等	<p style="text-align: right;">◆は参加者の発言 ◇は議員の発言</p> <p>《共通理解のために 草の根会主導により、ワークショップの体験。》</p> <p><b>学校におけるジェンダー教育について</b></p> <p>◆最近の状況として、学校教育の中でどのようになっているのか議員の認識をお聞きしたい。</p> <p>◇スポーツクラブ活動の中でも、階級制や男女の区分けなどがある。世間の中ではあまり進んでいない。子ども達の意味での自由選択ができるようになるべきと感じている。</p> <p>◇幼児教育、児童教育の段階からジェンダー教育も大事なため先生方や家庭での声かけが重要と考える。</p> <p>◇学校ではランドセルの色や、「さん」読み・出席番号の付け方など変わってきているという認識。</p> <p>◇男女平等と理解はしているが、時代背景や環境などにより違いが大きいと感じている。</p> <p>◇家庭内でも、共働きなどの生活スタイルにより家事担当など変わってきている。大人がそのような背中を見せる事が大事。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

◇料理が好きと言うと「女子力高いね」と言われる時があるが、その言葉自体に抵抗がある。看病時等でも夫婦共に家事ができる事が大事。学校では、管理職の状況など先生方の分業が気になる。毎日子ども達が見て、固定した組織のイメージになってしまう事を懸念している。

◆高齢の方々が、つい話してしまう言葉が、刷り込みの原点になってしまっている。この自覚がなく発している言葉がジェンダーの理解が進んでいかない一番の要因ではないか。「かるた」をつくった時に、高校生に絵を書いてもらった。高校生より多様な気づきの言葉をももらった。とても感動した。あらためて教育の大事さをあらゆる場面で実感する。

◇学校におけるスカートとズボンの使い方の違いについてどの様に捉えればいいのか、伝えたらいいのか教えて頂きたい。

◆先生方の認識の中での偏りを感じたことや、びっくりする発言も聞いたことがある。先生方からの刷り込みが心配だ。最近、高校生の制服などにおいて変化しているなど感じている。普通に選べる環境にしていくことが、私たち大人の役割と思っている。制服があるから選ばないといけないとも思う。自由に選べる状況にしなければならない。

◇一部かもしれないが、市内でも制服等を自由に選べる様になってきている。

◇LGBTQのQ（クイア）の部分は、子供たちにどのような言葉を使って、どう伝えていけばいいのか、教えて頂きたい。

◆最近、聞いた講座の中で、それに該当する講師が、究極は単純に一人の人間として見てほしいという言い方をされた。

◆性自認や性的指向に関係なく、個人の想いを受け止める事がいろいろな場面で必要だと考える。

#### 家庭教育支援条例について

◆現在、全国で10都道府県、6自治体で、家庭教育支援条例が制定されている。家庭教育を支援するという文言だけを見ると、何の違和感もないように見えるが、ベースにあるのは、戦前の家族観や教育観。伝統文化、郷中教育や日新公いろは歌を重んじることは悪いことではないが、それを明記することが、男女共同参画社会の形成を阻みはしないかと危惧している。男女共同参画の根底を流れるのは、全ての人の人権の尊重である。性別や年齢、また、障害があるかないかにかかわらず、全ての人の尊厳が守られる社会の実現のための政策だと思う。このような社会を築くために、政策方針決定の場におられる議員の方々と意見交換できればと思い今回参加した。

文教厚生常任委員会 (No.3)

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◇霧島市男女共同参画推進条例と男女共同参画計画の制定時の審議会等での議論はどうか。
- ◆審議会の公募に応募し、委員として発言するように努力しているが、審議会内では、計画の直接的事項以外は発言する機会がない。パブリックコメント等では可能かと思う。
- ◇市長部局のほうに、審議会の中で言えるそういう機会があると良いのではないか。
- ◆民間の私達よりも、民間の代表である議員の皆様方に、頑張ってもらいたい。
- ◇岸田総理の発言が報道で話題になった。子ども達にはそのようには伝えられない。議員の皆さんには私たちの代表としてもっともっと、みんなが住みやすいまちにして頂きたいと強く思っている。
- ◇審議会は傍聴などができると思う。議員が傍聴すれば、より活発な意見交換ができるのではないかと思うので、自ら情報を取って参加して頂きたい。

意見交換での主な意見等